

先週の月曜日の十七日、学級閉鎖をしている一クラスを含め、全校で約百名の児童が、何らかの理由で欠席していることが判明しました。今後手立てを講じることなく、万が一感染者がいた場合、学校での感染拡大が懸念されることから、本校では、予防的措置として、一月十九日～二十一日を臨時休業としました。二十四日から学校再開の予定でしたが、皆様もご存じの通り、日本国内の感染者の爆発的急増を踏まえ、二十四日(月)から二十八日(金)までオンライン授業に切り替えました。二十四日の月曜朝礼はオンラインによる配信。子どもたちに次のようなお話しをいたしました。(要点のみ紹介。)

今日、二十四日は登校のはずでしたが、今週一週間は、オンラインの授業に切り替えました。立教小学校内で感染者が急に増えているというわけではありません。

今まで、コロナの感染の疑いがある場合、池袋の保健所の方と相談し、学級閉鎖の期間や濃厚接触者の特定をしていただいています。ところが、感染者が爆発的に増え、濃厚接触者の特定等は、各学校で判断して決めてくださいとの連絡が入りました。

保健所の方々も精いっぱい努力してくださいますが、手一杯のようです。そこで、校医の先生と相談しました。十二歳未満の人はワクチンを受けていないこと。オミクロン

株は非常に感染力が強いことなどから、先週三日間は学校をお休みにして、様子を見ました。これまではクラスに陽性者が出たとしても、通常皆がマスクで生活し、給食で黙食が守られていれば、そのクラスの児童や先生は濃厚接触者に当たらないという保健所の判断でしたが、オミクロン株の感染力は、従来のもとは比べ物にならないほど強いので、一人でも陽性者がクラス内に出た場合、給食を共にしていた人は、濃厚接触者と特定せざるを得ないという校医の先生のご判断でした。そうこうするうち、校医の先生の予想通り、日本中の感染者が急増。立教小学校では、今週一週間はオンライン授業に切り替えたとこのわけです。

立教小学校のオンライン授業は、授業のよりに双方向で行う「同期型」の授業ではなく、撮っておいた動画を君たちがいつどのように見るか、何回見るかを自分で選べるようになっていて、「非同期型」の授業です。これは、同期型の授業で画面にくぎ付けになり、君たちの目の疲れや視力の大幅な低下を心配していること、同期型の授業だと、低学年児童の場合、保護者の方についていただかないと難しいといったことなどから、先生方で相談して、今週一週間も非同期型の授業を中心に進めることに決めました。

人間には、視覚・聴覚以外、においをかぐ

嗅覚、食べ物を味わう味覚、何かを触って感じる触覚の「五感」が備わっています。オンラインの授業では、視覚と聴覚を中心に使うこととなります。ですから、お家では、お料理作りの手伝いなどをして、においをかぐ、味見をするなどして、嗅覚や味覚を意識的に鍛えてください。



オンライン授業で目が疲れたら、空を見上げたり、公園に行つて植物に触れたりしてみてください。ふわふわしたコブシの芽などに触れてみて、触覚を鍛えてください。視覚・聴覚以外の感覚を鍛えることに意図的に力を入れることと、「第六感」と言つて、「直感」とか「勘」と言われるもの、たとえば、このお店は空気がよどんでいて、テーブルも不衛生そうだから入らないとか、このスプーンはきれいだけど人が多くて、換気が悪そうだから、違うスプーンに行こうとか、直感的に判断する力も身につけてくれたらありがたいです。先生方と君たちは、見えない赤い糸と言うより、もつと太いひも、目に見えない綱でつながっています。何か心配なことがあればすぐに連絡してください。サポートチームの先生にメールで相談もできます。三十一日の月曜日、お会いできますように…。

(立教小学校校長 田代 正行)